

事業実施状況調

【事業内容】

事業名	<p>【ブランド力向上事業】 オリジナルブランド[une]製品認知度向上のための情報発信</p>
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ une動画・スチール撮影（商品の制作風景） ・ 商品使用モニターへの取材 ・ uneHPの制作
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各制作現場、取材先 ・ 着用モニター仕事場
実施期間	<ul style="list-style-type: none"> ・ une動画・スチール撮影 <p>撮影日：2018.10.12 川北縫製 香川県さぬき市大川町田面98-2 ：2018.10.19 岩部保多織本舗 香川県高松市磨屋町8-3 藍色工房/吉田藍農園 徳島県吉野川市山川町川田580番地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ une 着用モニター取材（HP公開後追加） <p>取材日：2018.12.6・山下真守美さん（クラフト作家） ：2019.1.21・山崎葉月さん（折り紙アーティスト） ：2019.1.23・Xavier Brussetさん（カフェ「zazu」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HP公開：2018.12.3
効果及び課題	別紙添付

事業実施状況報告書

une 動画制作

保多織の質感や手織りの様子、縫製工場での作業風景、藍染めの工程など、une の商品背景がより伝わりやすくするために、動画を制作した。

【織物】岩部保多織本舗、【縫製】川北縫製、【染め】藍色工房と、実際のものづくりの現場での撮影では、職人の作業の様子に密着。それらの風景の中に、une を巻くシーンや、四国内でのロケーション撮影を織り交ぜ、地域に根ざした「ものづくり」から生まれたものであることを印象付けた。

動画は60秒と15秒の2バージョンで、60秒は売場サイネージ、15秒はホームページのトップ画面や、SNS への投稿用にと、用途に分けて制作した。

uneHP 制作

ホームページ制作に関しては、単なる商品の紹介ではなく、製作背景を掘り下げた内容を目指した。une の製作に関わる職人それぞれが持つ特徴や歴史を紹介し、une のコンセプトをしっかりと紹介した。

また、これまでのリリースをたどれるようにラインナップや商品サンプルを着用、使用してもらえるモニターを募り、要望を聞きながら、改良版を含め2度のサンプル製作を行った。

商品使用モニターへの取材

「une ならではの肌触りのよさは、赤ちゃんにこそ使って欲しい」との思いから、最新の une は従来のストールとしての使い方に、授乳ケープとしての機能を持たせた。そのため、乳児がいるご家庭に実際に着用モニターの協力をしていただいた。また、近年の外国人旅行者の急増に際し、地域の伝統技術を知ってもらう機会になればと、県内在住外国の方や国際結婚して海外在住の方にも着用モニターに協力を仰いだ。

● 鋳金作家 山下 真守美（やました ますみ）さん

香川県高松市でブロンズや真鍮などを使った鋳物の作品をつくる金工作家。ギャラリーなどで個展やグループ展を開き、作品を発表している。3 姉妹の母親としての顔も持つ。

● 折り紙アーティスト 山崎 葉月（やまさき はづき）さん

カナダ留学中にドイツ人の夫と出会い、その後結婚。4 年前からドイツに在住し、現在は 2 児の母。折り紙アーティストとして、現地でワークショップや教室を開いている。

● カフェ「zazu」オーナー Xavier Brusset（ザビエ ブルセ）さん

フランスのトゥールーズ出身で盆栽を学ぶため香川へ。現在は日本で結婚し三木町で植物とコーヒーと自家製スイーツの店「zazu」を営みながら、不定期で盆栽教室を開いている。

雑誌 IKUNAS への掲載

弊社発行の「IKUNAS」においては、毎号 une についての紹介ページを設けている。今回の une に関しては、前号 IKUNAS vol. 8(2018. 09. 30 発売)において、幅広い年齢層に受け入れてもらえるようにと男女のモデルを起用して撮影を行った。

そして IKUNAS vol. 9(2019. 03. 31 発売)でも、une プロダクト商品やものづくり背景を発信するブランドサイトの訴求を企画している。

販売方法について

昨シーズンまでの在庫をもったの販売方法とは違い受注販売にする。理由は生地を取り方や染めの工程にロスが出にくく、なるべく価格を押さえようとしたため。また、モニターテストを重ね、ものづくりの魅力を訴求とともに、商品としてのクオリティを上げたいと考えている。

スケジュールとしては2018年度に une の情報発信、モニター調査などをして製品改良し、2019年度に受注を本格化する予定。また SNS にてそれらの情報を適宜発信していく。